

平成 25 年度第 1 回京都大学防災研究所自然災害研究協議会 議事録

日 時：平成 25 年 4 月 23 日（水）午前 9 時 30 分～午前 11 時 30 分

場 所：京都大学防災研究所本館 S 棟 5 階 防災研究所大会議室（S-519D）

出席者（敬称略）：吉田、川邊、吉岡、林、遠田、緑川、田中、長田、中野晋（代理：武藤）、平石、飯高、横松、井口、岩波、鈴木、

オブザーバー（敬称略）：大志万（所長）、川瀬（副所長）、寶（前議長）、（文部科学省）：鈴木、松原、（事務局）：織田、織田（真澄）

配付資料：

- 1 京都大学防災研究所自然災害研究協議会委員名簿・出席者名簿
- 2 平成 24 年度第 3 回京都大学防災研究所自然災害研究協議会議事録（案）
- 3 平成 24 年度自然災害研究協議会決算報告（案）
- 4 平成 25 年度自然災害研究協議会予算（案）
- 5 平成 25 年度自然災害研究協議会活動予定（案）
- 6 共同利用・共同研究拠点機能の強化について
- 7 災害リスクの統合的な研究の推進について
- 8 自然災害データベースについて

- ・開会に先立ち、京都大学防災研究所長 大志万直人教授より挨拶があった。
- ・前回議事録の確認（資料 1）および出席者（代理）の確認（資料 2）と挨拶があった。

議 事：

1. 議長選出について

規程第 6 条に従い、九州大学大学院理学研究院 廣岡委員が議長に選出された。

なお、今回は議長欠席により、前議長の寶教授が議長代理となった。

2. 平成 24 年度決算報告について（資料 3）

平石委員より配布資料にもとづいて説明され了承された。

3. 平成 25 年度予算及び地区活動経費について（資料 4）

平石委員より配布資料にもとづいて、平成 25 年度予算の説明がなされ了承された。地区活動経費については、各地区部会から必要経費を申告頂き、予算確保に努める旨の説明がなされた。

4. 平成 25 年度自然災害研究協議会活動予定について（資料 5）

平石委員より配布資料にもとづいて説明がなされた。その結果、第 50 回自然災害科学総合シンポジウムは平成 25 年 9 月 11 日（木）に京都大学宇治キャンパス黄檗プラザ（き

たばホール) で開催することが承認された。また、突発災害については、各地区部会の判断だけでなく、突発災害調査委員会による調整が必要との意見がだされ、本調査委員会の機能強化の必要性が確認された。

5. 共同利用・共同研究拠点機能の強化について(資料6)

防災研究所長大志万教授より資料にもとづき、新たな共同研究スキームにより拠点機能を強化する旨の説明があった。地域連携共同研究では、本協議会及び各地区部会が共同研究課題を提案する。また、拠点間連携共同研究では、本協議会が関連組織と協力して、企画・調整や採択課題の予備審査等を担当する考えがあることが説明された。

6. 災害リスクの統合的な研究の推進について(資料7)

林委員より資料にもとづき、国際プロジェクトである災害リスク統合研究の日本における拠点を形成し、海外との連携を通じて災害リスク統合研究活動を実施する「学術大型研究計画」を提案した旨の説明があった。

本協議会は、900以上のネットワークがあり、本研究計画においてもプロジェクト推進機関として国際的役割が期待されている旨の説明があった。

7. 自然災害データベースの現状について(資料8)

鈴木委員より資料にもとづき説明がなされた。

8. 突発災害調査委員会について(席上配布資料:突発災害調査委員会(平成25年度)(案))

資料にもとづき、委員会名簿の確認及び突発災害直後の対応について、意見交換がなされた。委員会名簿を最新版に更新し、突発災害直後の対応については資料記載の対応方針が了承された。

9. その他

平石委員より、中部地区部会において平成25年年度活動計画が示された旨の説明がなされ、その他の地区部会からも同様の計画を示して頂きたい旨の依頼がなされた。